

日時	平成 27 年 10 月 22 日 14:00～18:00
派遣先	芝浦工業大学柏高等学校
活動内容 生徒数：40 名	<p>14:00 新柏駅からスクールバスに乗り、高校に向かった。</p> <p>14:30 1 回目の授業が始まった。初めに 2 グループに分かれて留学生 2 人の研究紹介を聞いた。内容は海洋工学と遺伝子工学についてで、高校生は自分の興味のある発表を聞き発表の後には質問をしていた。その後、留学生の自国紹介のプレゼンテーションを行った。インドネシアの楽器であるアングルンの演奏の仕方を教えてもらい、きらきら星を演奏した。最後に高校生と留学生の交流を行った。高校生は留学生に積極的に話しかけていて、時間いっぱいまでとても盛り上がっていた。</p> <p>15:45 茶道部による茶道体験が始まった。高校生は茶道の作法について英語で説明し、留学生は慣れない正座をして初めてのお茶菓子や抹茶を味わっていた。また、茶道の先生が着ていた着物について興味を持っていた。</p> <p>16:40 2 回目の授業では、1 回目の授業と同様に留学生による研究紹介、自国紹介の発表を行った。その後、高校生による研究のポスター発表を聞いた。ポスターだけでなく模型を用いて説明したり、実際に計算したりして留学生によく伝わるように工夫していた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
派遣先教員 コメント	留学生との交流会は初めてで心配だったが、生徒たちは自分から留学生に話しかけたり、真剣に留学生の発表を聞いたりして積極的に行動する姿が見られた。これから英語や発表の練習をする場としてこのような機会を増やしていきたい。
留学生 コメント	高校生の研究はユニークなものが多く、質問にもしっかり答えてくれて研究への情熱が伝わってきた。また、茶道は日本の伝統的な芸術の一つだが今まで体験したことなかったので今回体験できてよかった。
学生リーダー コメント	実際に楽器を演奏し、フリートークではインドネシアに関する質問をしていて、高校生はインドネシアにとっても興味を持ったように感じた。また、高校生による研究発表では、留学生に質問されて研究に興味を持たれていることに喜んでいるように感じた。